

「保守期間中の実効線量高精度評価のための2線量計アルゴリズムの韓国原子力発電所における実施計画」

Mr.Hee geun Kim (韓国電力研究院 KEPRI, 韓国)

実効線量のより高精度の推定のための2つの線量計による実効線量決定方法の韓国の原子力発電所における適用についての報告である。複数の線量計の計測値を組合せて実効線量を決定する手法には、TLDを移動して計測する手法、3つ以上のTLDを組み合わせる方法など、種々の提案がなされている。

2つの線量計を用いる方法にも多くの方法が提案されているが韓国では適用試験が実施され、適用プログラムが検討されている。

